

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
国際関係	2	前	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(まつざわ ゆうすけ) 松澤 祐介	UniProve を活用します。			

(英文科目名 International Relations)

授業の概要

サービスの現場や経営を今後担っていく諸君に、諸外国や異文化を理解する基礎的な力を養うことが狙いです。外国との安定的な関係を通じて我々の豊かさをいかに持続するか、を、世界の国々の状況や、戦争・紛争が起こる理由やその解決法を通じて考えます。前半では、国と国の関係を知る初歩として、国とは何か、そこに住む人々・「民族」とは何かを検討します。また、その「国」と「国」の関係をどのように構築し、戦争・紛争の起こらない社会を作る努力(条約、国際機関の設立など)の歴史を、主として 20 世紀前半までの流れの中で学びます。中盤から後半では、第 2 次世界大戦後の日本を含めたアジア、アメリカ、ヨーロッパなどがどのような関係を持ち、対立・協調してきたか、冷戦や経済摩擦、地域統合などをトピックとして扱います。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、サービス経営学科の専門への関心にしたがった体系的な履修を支援する専門基幹科目として位置づけられます。戦後日本は平和主義の下で発展を遂げてきました。反面、海に囲まれた日本に住む私達は「国」「民族」の意識に希薄になりがちですが、世界では平和の大切さを理解しつつも国・民族間の紛争が絶えないという現実があります。そこでこの授業では、「国」「民族」とは何か、外国といかに関係を築くのか、戦争はなぜ起こり、いかにこれを回避・終結させるか、世界が発展し豊かになるための方法とは、などを問題意識とします。そして、近代から今日までの欧州、アジア、米国等を具体的なテーマとし、その知見が、異文化をバックグラウンドとする訪日外国人等へのホスピタリティを発揮する力につながることを期待する科目です。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1) 知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	サービス産業における世界とのつながりを考える際の基本的な知識としての、国、国家間の関係、国民の多様な在り様について説明できる。
(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。		
(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	国家の関係や、国民、民族の多様性を知り、サービス業のグローバル化にあって、外国、外国人との対応に当たる際の基礎的な感覚、思考様式の獲得に寄与できる。
(4) 総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義で行います。時事的な問題・話題を盛り込むため、新聞・雑誌記事や記録映像を用いて理解を深めます。

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	「国」に関する基礎知識:国際関係を学ぶ基本事項として、国とは何か、を確認します。	事前学修:参考文献、履修要綱から講義の概要をつかむ(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
2	国家と国民:国民とは何か、近代の国民国家の誕生、その背景にあるナショナリズムを考察します。	事前学修:教科書の第2回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
3	日本と近隣諸国の関係:国際関係を考える基礎として日本と近隣諸国の関係を概説します。	事前学修:教科書の第3回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
4	国際紛争の類型(1)領土紛争:近隣国との領土をめぐる紛争事例を学びます。	事前学修:教科書の第4回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
5	国際紛争の類型(2)独立をめぐる紛争:国家からの独立に際して生じた紛争事例を学びます。	事前学修:教科書の第5回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
6	国際紛争の類型(3)イデオロギーをめぐる紛争:国の体制や、宗教など、イデオロギーによる衝突、紛争を学びます。	事前学修:教科書の第6回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
7	国際関係の展開(1):主権国家と国民国家の成立を学びます。	事前学修:教科書の第7回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
8	国際関係の展開(2):19世紀末の帝国主義と第1次世界大戦、およびその後の国際関係を学びます。	事前学修:教科書の第8回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
9	国際関係の展開(3):第2次世界大戦と戦後構想、戦後の冷戦への過程を学びます。	事前学修:教科書の第9回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
10	国際関係の展開(4):冷戦の展開とその終結までの過程を学びます。	事前学修:教科書の第10回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
11	国際関係の展開(5):冷戦後の地域紛争の展開について学びます。	事前学修:教科書の第11回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)

12	地域統合:EU など国の枠を超えた統合についてその成果と課題を学びます。	事前学修:教科書の第 12 回該当箇所を読む(90 分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90 分)
13	国際機関の役割:国際連合などの国際機関の機能と役割、成果と課題を学びます。	事前学修:教科書の第 13 回該当箇所を読む(90 分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90 分)
14	内戦と介入:他国内の紛争への介入の是非を、事例から学びます。	事前学修:教科書の第 14 回該当箇所を読む(90 分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90 分)
15	国際社会の課題:テロ、難民といったこんにちの国際社会の課題を分析します。	事前学修:教科書の第 15 回該当箇所を読む(90 分) 事後学修:配布される全体のまとめとなる演習問題に取り組む(90 分)

成績評価の方法・基準

各授業で課す授業内容に関する復習課題(記述式。50%)、試験(記述式。50%)で評価します。

指定教科書

小川浩之他『国際政治史: 主権国家体系のあゆみ』有斐閣 2018 年。

昭文社『なるほど知図帳 世界 2020』昭文社 2019 年。

参考文献等

パスカル・ボニファス「現代地政学 国際関係地図」ディスカヴァー・トゥエンティワン 2019 年。

履修上の留意点

特になし。

実務経験